

1. 事業の必要性・概要

我が国の大気汚染の状況については、自動車排出ガス規制の強化等、種々の大気汚染防止対策が講じられ、改善傾向にあるものの、大都市市域の一部等においては、環境基準が達成されていない測定局がある。一方、公定サイクルを外れた走行条件で排出ガスが増大する事例も報告されており、今後も引き続き排出ガス規制の強化を検討する必要がある。また、微小粒子状物質（PM2.5）や未規制物質についても、排出実態を把握し、必要に応じ対策を検討する必要がある。

自動車交通騒音についても、環境基準の達成状況は概ね横ばいの傾向であり、苦情も後を絶たない状況であるため、自動車単体への騒音規制の強化を検討する必要がある。

本事業では、以下のとおり自動車排出ガス低減対策及び騒音対策に係る実態調査を実施し、今後の規制の強化等について、その効果の評価等を踏まえ、検討を行う。

2. 事業計画（業務内容）

①自動車次期排出ガス規制策定費

- ・ 最新規制適合車の排出ガス量原単位及び実使用環境下での排出ガス量について調査するとともに、各車種の寄与度、対策を実施した場合の効果算定し、各車種の排出ガス規制強化について検討を行う。
- ・ また、排出ガス規制値は非常に厳しいレベルとなっていることから、米国で採用される企業平均規制等、柔軟性をもった新たな視点による規制導入の検討を行う。

②交換用マフラーに係る騒音対策強化等調査費

- ・ 平成22年より開始されたマフラー性能等確認制度について、使用実態により近い試験条件で評価することを目的とした新車の騒音試験法見直しに併せ、マフラー性能等確認試験として行う加速走行騒音試験法の見直しや、更なる騒音対策強化のために、交換用マフラーの実態把握及び交換前車両の騒音値との相対値による規制を含む規制値の検討を行う。

③自動車からの微小粒子状物質・未規制物質等実態分析及び対策策定

- ・ 自動車排出ガスのうち、PRTR法（特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律）に基づき、自動車からの未規制化学物質排出量を推計する。
- ・ また、環境基準が策定されたPM2.5の低減対策を検討するにあたって、重量ベースの規制は技術的課題があることから、粒子数に着目した規制手法を検討するとともに、DPF再生時のPM排出挙動を調査し、その結果に応じて必要な対策を検討する。
- ・ さらに、高度な排出ガス低減技術が導入された最新規制適合のディーゼル車にバイオ燃料を使用すると、排出ガス低減性能に影響を及ぼす可能性があることから、その影響を把握し、バイオディーゼルに係る排出ガス許容限度及び燃料性状許容限度を検討する。

	24年度	25年度	26年度
自動車次期排出ガス規制策定費			
・ 原単位調査			→
・ 実使用環境下における排出ガス実態調査			→
・ 規制手法の見直し			→
交換用マフラーに係る騒音対策強化等調査費			
・ 交換用マフラー騒音性能等調査（二輪）	→		
・ 交換用マフラー騒音性能等調査（四輪）		→	
自動車からの微小粒子状物質・未規制物質等実態分析及び対策策定			
・ 自動車からの未規制物質対策関係			→
・ 自動車からの微小粒子状物質対策関係			→
・ バイオ燃料使用時未規制物質対策関係			→

3. 施策の効果

- ・ 次期自動車排出ガス規制の策定、交換用マフラー騒音対策強化等、現行自動車排出ガス・騒音規制強化
- ・ 大気環境等への影響を考慮した未規制の排出ガス・燃料等に対する新たな規制の検討
- ・ 新たな規制手法による効果的な排出ガス規制の実施及び環境技術開発全体の効率化

自動車排出ガス・騒音規制強化等推進費

現状・課題

- 自動車排出ガス・騒音規制の導入及びその強化により環境は改善傾向にあるものの、大気汚染や騒音に係る環境基準が依然として達成されていない状況

NOx(自排局):95%、騒音(幹線道路):84.4%(H21年度)

- 排出ガス後処理装置等、高度な排出ガス低減技術の導入により排出ガスの性状が変化し、未規制物質が増加する懸念

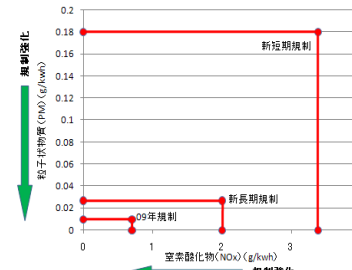


図:ディーゼル重量車規制の推移

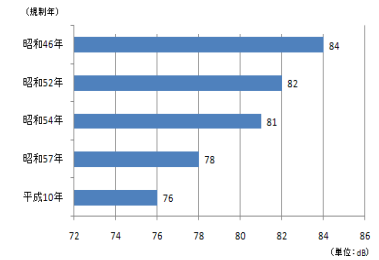


図:乗用車の加速騒音規制の推移

事業の概要

①自動車次期排出ガス規制策定

- 実使用環境下における排出ガス原単位、大気汚染寄与度・規制による低減効果の調査、次期排出ガス規制の検討
- 企業平均規制、クレジット制度等新たな規制手法による効果・課題の検討

②交換用マフラーに係る騒音対策強化等調査費

- 新たな加速走行騒音試験法による交換用マフラーの実態調査及び試験法の見直しの検討
- 交換前車両の騒音値との相対値による規制を含む規制値の検討

③自動車からの微小粒子状物質・未規制物質等実態分析

- PRTR法に基づく排出量算定のための未規制物質調査、排出ガス後処理装置導入に伴うN2O等調査
- PM个数・成分等調査、タイヤ粉じん調査
- バイオディーゼル使用時排出ガス調査

効果

- 次期自動車排出ガス規制の策定、交換用マフラー騒音対策強化等、現行自動車排出ガス・騒音規制強化
- 大気環境等への影響を考慮した未規制の排出ガス・燃料等に対する新たな規制の検討
- 新たな規制手法による効果的な排出ガス規制の実施及び環境技術開発全体の効率化

更なる排出ガス・騒音の低減・環境基準の達成